

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和8年度 第2回粕壁地区地域づくり推進協議会					
開催日時		令和8年8月24日(月曜日)	<table border="1"> <tr> <td>開 会</td> <td>午後3時00分</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午後4時30分</td> </tr> </table>	開 会	午後3時00分	閉 会	午後4時30分
開 会	午後3時00分						
閉 会	午後4時30分						
開催場所		春日部市役所 203会議室					
議長(会長等)氏名		会長 白石 昌三					
出席者	委員氏名	(出席人数：11人)					
		白石 昌三、松永 彰、津山 宏一、持地 則雄、大平 一義					
		大貫 義信、藤間 眞白、五十嵐 真、石川 貴雄、加藤 輝彦、鈴木 浩子					
		(欠席) 飯山 雅一、笹津 駿輔					
出席者	説明者その他	なし					
出席者	事務局	(出席人数：4人)					
		市民生活部長 篠原 直樹					
		市民生活部参事 清水 一男					
		粕壁市民センター主幹 山下 剛史、粕壁市民センター 小林 奈穂					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項(意見交換) (1) 地域防災+文化・交流イベントの実施内容について 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)					
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		(資料1) 地域防災×文化交流イベントの全容について (資料2) 宿泊避難訓練のチラシ					
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【１．開会】
	会議を公開する旨の報告、傍聴希望者なしの報告。
会長	【２．あいさつ】
	《白石会長あいさつ》
事務局	規定に基づき、会長が議長となる旨を報告。
	議長
	議事録署名人として、石川委員を指名。
議長	【３．協議事項】
	協議事項（１）地域防災＋文化・交流イベントの実施内容について、事務局から説明を求める。
事務局	<スライドに基づき説明>
	議長
委員	各委員より意見を求める。
	宿泊避難訓練は時期的に夜間の冷え込みが予想されるため、寝具や防寒着、ポータブル電源等の準備について周知が必要だが、普段から何を準備しておく必要があるのか、自分で体験することが非常に大切。
委員	テントはどこに設営するのか、テントを持っていない場合はどうするのか、チラシ（案）からは詳細がわからないが、いかがか。
	事務局
事務局	テントの設営場所は八木崎公園にて行う。
	テントがない参加者は館内の２階ギャラリーにダンボールベッドや布団を持ち込み、宿泊する形で対応する。
	なお、雨天時は1階講堂ホールの客席を格納し、屋内にテントを設営できるよう柔軟に対応する。
委員	前回の協議会で、はしご車など人気のあるものを用意できれば子どもたちも含め、多くの人が集まるのではと話したが、八木崎公園はテント設営だけの場所となっており、もったいないとも思うが、計画は順調と判断できる。
	委員
委員	各自治会長などにも宿泊体験をしてもらい、皆さんの安心安全を守っていただきたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	毎年12月に自治会の防災訓練を予定しており、今回の10月の訓練を参考に活かしたい。被災地支援経験をもつ職員や大学教授の話を聞くなど、実体験に基づく情報、生きた話が聞けるのは大変参考になる。 子ども会などへも働きかけたいと思っている。せっかく皆さんが集まってやるので、生きたものにしていければいい。
委員	能登半島を訪問する機会があり、被災地は復興がまだ進んでいない状況を実感した。計画は具体的な良い内容になっていると思う。 学校では自助・共助・公助の教育をしているが、公助の部分がなかなか学校ではできないので、子どもたちの視点を重視することで見つかることもあると考える。 中学校の有志合唱団がステージ発表イベントに参加するのは可能。 なお、ピアノの調律はいかがか。
事務局	市民センター祭りの前日に行うため、音響面に問題なし。
委員	今年度は震度5弱の地震が多く、南海トラフ地震の危険もあるため、いつ災害が起きてもおかしくないと認識している。 子どもたちにいつどんなことが起きても自分の命は自分で守れるようにしておこうと教育する上で、このコンセプトはすばらしく、参加者の体験をフィードバックしアウトプットすることが重要。ぜひ、市内にも広めていってほしい。
委員	過去の町内会の訓練は代表者が参加しているが、今回の経験は多くの方が参加でき、地域の力になると期待している。
委員	参加対象者や人数、テントを持たない人への説明や寝具の持参などチラシ告知内容の補足を提案。この事業の予算はいくらか。
事務局	20万円の予算で対応。
委員	参加者が最後に体験を通しての振り返りをするとのことだが、その振り返りの内容は自ら持ち帰るだけか、どこかに共有するものなのか。
事務局	振り返り内容等はパワーポイントでまとめ、宿泊避難訓練の様子と作成したスライドをモニターで流す予定。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	雨天時は公園ではなく公民館体育館を使う想定だが、どちらにしてもテント泊での身体的負担も考慮し、体験前の告知が重要。過去の被災経験談から、水や物資が制限される大変さを説明し、防災訓練としての意識づけのため、単なる楽しいキャンプイベントにならず、「自分で用意する」「実際の不便さを学ぶ」という災害時の厳しさを体験できる工夫が必要。
委員	参加の呼びかけを拡充するために、自治会経由だけでなく近隣の協定企業や若手住民、子ども会などへも広く周知し、協力者を巻き込みたい。
委員	時期的にもリアルに防災を考える良い機会である。 チラシ（案）について、見やすく目を引くデザインに。申し込み用QRコードとは別に、イベントの詳しい情報を確認できる詳細案内用QRコードを設置すると良いのでは。
事務局	デザインやレイアウト、詳細情報も含め見直しをする。
議長	【4. その他】 その他について、事務局より説明を求める。
事務局	緑小、緑中の児童生徒による作品展示、合唱団による発表の詳細については、この後打合せをする。 次回の第3回粕壁地区地域づくり協議会は12月22日（火）10時から開催する。会場は中央公民館を予定しており、改めて通知する。
議長	議事が終了し、進行が事務局へ返却となる旨を報告。
事務局	【5. 閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和8年9月11日	
署名者の職・氏名	
粕壁地区地域づくり推進協議会	
委員 石川 貴雄	